

会議録

会議の名称	令和5年度 第1回あま市スポーツ推進連絡会議
開催日時	令和5年7月31日（月）午後7時から
開催場所	あま市役所 2階 会議室C1・C2
内 容	<p>1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長の選出 6 議題 (1) スポーツ推進にかかる課題及びスポーツ推進計画について (2) 意見交換 【テーマ】「スポーツ好きな」子どもを増やす取組について 7 その他</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・あま市スポーツ推進連絡会議委員名簿 ・座席表 ・あま市スポーツ推進連絡会議設置要綱 ・あま市スポーツ推進計画（冊子） ・【資料1】スポーツ推進計画事業の推進について ・【資料2】今後取組むべき重点ポイント ・【資料3】スポーツ推進連絡会議 会議テーマについて ・【資料4】「スポーツ好きな」子どもを増やす取組について
出席委員	<p>石塚吾歩路会長、石塚建伸副会長 中村正生委員、木全克己委員、横井三千代委員、石黒 孝委員、 立松武子委員、石原晶子委員、中村博美委員 （委員名簿順）</p>
欠席委員	竹田竜一郎委員
事務局	<p>（教育委員会） 伊藤克仁教育長、鎌倉崇志教育部長 （教育部スポーツ課） 大堀俊和課長、江上博孝主幹、田口健次郎主幹、 水野晃寛課長補佐、菅原孝徳課長補佐</p>

会議の経過

1 開会

2 委嘱状交付

資料「あま市スポーツ推進連絡会議要綱」により事務局から説明。

【質疑応答】

なし

3 伊藤克仁教育長あいさつ

4 スポーツ推進連絡会議委員及び事務局の自己紹介

5 スポーツ推進連絡会議の会長及び副会長の選出

資料「あま市スポーツ推進連絡会議要綱」により事務局から説明。

互選により、会長は石塚吾歩路委員、副会長は石塚建伸委員に決定。

6 議題

(1) スポーツ推進にかかる課題及びスポーツ推進計画について

【資料1】スポーツ推進計画事業の推進について、【資料2】今後取組むべき重点ポイント、【資料3】スポーツ推進連絡会議 会議テーマについて事務局から説明

【質疑応答】

委員：スポーツ推進計画で、アンケート調査はいつ実施されたものなのか。

事務局：令和4年度に調査したものです。

(2) 意見交換

【テーマ】「スポーツ好きな」子どもを増やす取組について

【資料4】「スポーツ好きな」子どもを増やす取組について 事務局から説明。

【意見交換】

以下は、各委員から出された主な意見や情報提供となります。

委員：女の子の「スポーツが好き」の割合が低いのが残念。子どもたちの運動能力の低下が見受けられる。幼少期の頃から体を使って遊ぶことが不足しているかもしれない。女の子の中には、スポーツというものが非常にハードルの高いものであると感じている子がいると思う。スポーツは、遊びの延長であると思って、もっと気軽に考えてほしい。

委員：スポーツが好きになるきっかけは、鬼ごっこなどの「遊び」からだと思う。昔は、公園でのドッジボールや、好きな野球選手のフォームをまねるなどの遊びから入っていた。でも今は、ボール遊びができる公園がない。気軽に運動ができる環境を整えることが必要であ

る。

委員：ボール遊び禁止の公園が多く、そこでボール遊びをしていると近所から怒られる。子どもたちが気軽に遊べる場所が必要。

委員：スポーツは自分でやるものであり、押し付けるものではない。1年生から6年生までを対象にした、ある小学生のドッジボールの講習会に参加した時、どのように指導されるかなと思っていたら4, 5, 6年生は、ドッジボールのボール投げをやる。1, 2, 3年生はボール遊びをしてボールと親しむ。このように段階的に誰がどのように指導するかということが重要である。

子どもたちにスポーツの楽しさを教えることができる良い指導者が必要である。今は、家の中でゲームやスマートフォンに興じて、1人でも遊べる。そのような子どもたちに、いかにして押し付けではなく、自主的にスポーツに興味を持たせるかということが必要となってくる。今の時代に合った指導をしないと、スポーツに興味を持ってもらえなくなる。

委員：スポーツと考えると入りにくい部分があると思うが、遊ぶ、体を動かす、というところから入れば良いと思う。親子で一緒に体を動かせば、親は子どもが一生懸命にやっていると、嫌でもそれにつられてやるようになるので、幼児期に親子で体を動かすことから始めることが良いと思う。

委員：現在、子ども会の加入者数は1, 500人ほどであり、全盛期の半分程度である。毎年子ども会の統廃合がある状況にある。続いている子ども会は、子ども会だけではなく地域の支えが強く、地元の老人クラブの方が子ども会を応援している。地元の支えがない地区においては、子ども会を運営していくには親の負担が大きく、困難である。旧甚目寺町と旧七宝町には子ども会は残っているが、旧美和町には子ども会が一つも残っておらず、任意的に子ども会のような活動をしている区がある。

子どもたちがスポーツ又はその他のことに関われる仕組みが乏しいと思う。コロナ禍において生活困窮になっている世帯が多くなってきており、生活していくためには、子どもにスポーツをさせることをためらう。お金をかけなくてもスポーツを楽しめる環境づくりが必要である。子どもたちはスポーツがやりたいけどやれない状況下にある。スポーツ体験祭りなどを企画して、子どもたちが自由に参加できるような催し物を企画してみてもどうか。

委員：放課後子ども教室において最後にみんなでドッジボールをやっていたが、昨年から「私はやりません」。と言っていた子がいました。コロナが関係しているのかなと思いました。

色々なスポーツ関係の親子で参加する講座を開いているが、ほとんどが定員以上の参加申し込みがある。運動嫌いな子どもは、そんなには少なくないと思う反面、コロナが関係しているかどうかはわからないが、スポーツをするのも、見るのも嫌いな子どもが増えてき

ているのも事実で少し心配ではある。

親子が安心して遊べる場所をこれからどうしていくかを市と協力しながら良い方法で、より多くの子どもたちや親子にスポーツに親しんでいただくことを考えていきたい。

会 長：今回たくさんの貴重な皆様方のご意見を頂戴いたしましたので、一度、事務局において整理をしていただき、事務局と私で提言等の内容につきまして今後の方向性をまとめて、また皆さんにお示しをさせていただきたいと思えます。委員の皆様それでよろしいでしょうか。皆様に賛成をいただきましたので次回の会議において整理させていただきますましたものを報告させていただきます。

7 その他

事務局：次回の第2回あま市スポーツ推進連絡会議は、来年2月頃の開催を予定。日程が決まり次第、案内通知を送付。

8 閉会